

八重山地域における飲酒実態について

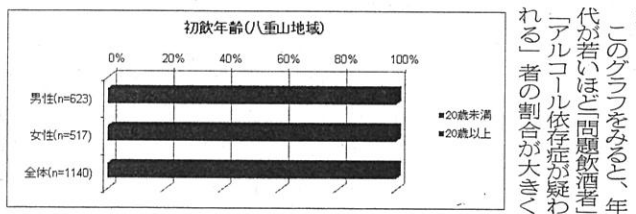
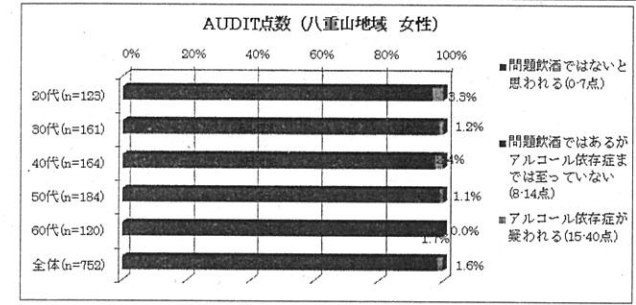
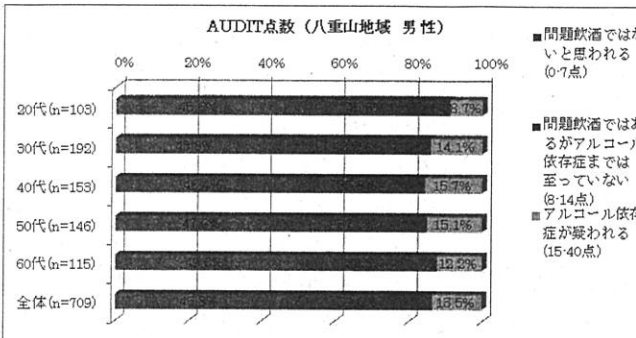
八重山保健所健康推進班 久場 香代子

Let's 健康おきなわ21

リレーエッセイ①

① 沖縄県は飲酒による健康問題が大きいことを皆さんはご存じでしょうか。沖縄県では肝臓病による死亡率が年々増加しており、その原因の一つであるアルコール性肝疾患による死亡率は全国の2倍も高く、このままでは沖縄県の長寿復活も夢のまた夢で、沖縄県民のお酒の飲み方にトを実施しました。【※A

UDIT(アルコール使用障害特定テスト)を主とした調査です。その調査からいくつか抜粋して実態を報告いたします。
①八重山地域の男性10人に1人はアルコール依存症疑い、
②八重山地域の女性若者が中心に問題飲酒者が多い、
③初飲年齢について、今回の調査では初飲年齢についても調査しました。男女で比較したところ以下のとおり、男性の初飲年齢20歳未満は男性全体の24.2%、女性の初飲年齢20歳未満は女性全体の12.2%を占めていました。



の年代においても約1割占めていました。さらに、「問題飲酒者(8-14点)」もあわせると各年代とも半分以上を占めていました。これは全国の調査と比較すると約2倍の値です。八重山地域の男性半数以上がお酒を減らす努力や工夫(状況によっては断酒が必要)があることがわかりました。

②八重山地域の女性若者が中心に問題飲酒者が多い、今回の調査では初飲年齢についても調査しました。男女で比較したところ以下のとおり、男性の初飲年齢20歳未満は男性全体の24.2%、女性の初飲年齢20歳未満は女性全体の12.2%を占めていました。

③初飲年齢について、今回の調査では初飲年齢についても調査しました。男女で比較したところ以下のとおり、男性の初飲年齢20歳未満は男性全体の24.2%、女性の初飲年齢20歳未満は女性全体の12.2%を占めていました。

このグラフを見ると、年代が若いほど問題飲酒者「アルコール依存症が疑われる」者の割合が大きくなっていることがわかります。全国と比較すると、沖縄県は初飲年齢が低いことがわかっています。このことは若い人ほどお酒による害の影響を受けやすいことから、決してよい状況とは言えません。沖縄県の未成年の飲酒問題も課題と言えます。

以上が、一部ですが調査からみえた実態です。課題は大きく、今後、保健所はじめ各関係者、住民皆で「Let's健康おきなわ21」は毎月1回沖縄県の長寿復活に関する記事を投稿します。次回からは、八重山地区健康おきなわ21推進会議のメンバーが投稿します。沖縄県の長寿復活にむけてできることは何かみんな考えてみましょう。